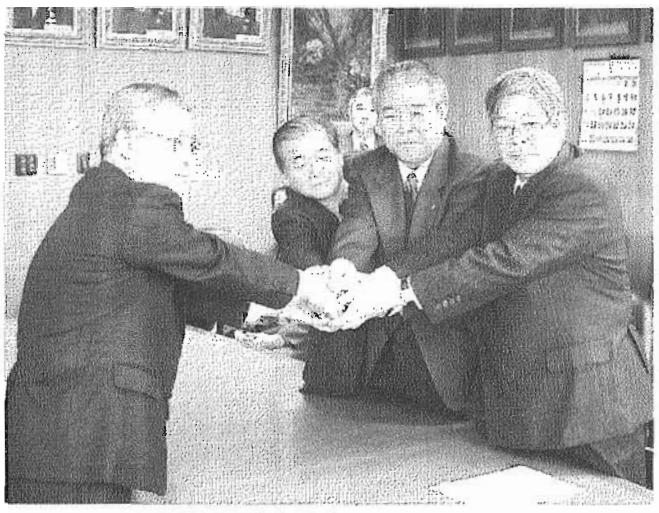
## 鹿屋市北田大手町再開発 特定事業者協定締結

# 施設建築 来年4月着工へ

鹿屋市北田大手町地区第1種市街地再開発事業における特定事業者参加者に関する協定締結がこのほど、鹿屋市役所で行われ、市と地域振興整備公団ら4者が協定書に締結した。施設建築については、実施設計を9月頃までに完了させ、本工事は17年4月の着手を目指す。

調印には新田進同公団鹿屋特定再開発事務所長と田中直課長、山下栄鹿屋市長、岡崎継義鹿屋商工会議所会頭、青山三郎㈱まちづくり鹿屋代表取締役らが出席。山下市長が協定書に調印し、新田所長に手渡した。終了後、新田所長は「今後、公団本部で大臣認可申請に向けての事務手続きに入る。通常は住民縦覧など4週間を経て2、3カ月を要する」と話した。また、協定書のほかに、関係4者の署名なつ印がされた確認事項記載書も添付された。



調印後握手する山下市長（右端）ら

施設の規模は、商業・公益施設棟がS造4階建、業務棟が2階建延べ約1万6250平方㍍を想定。基本設計は昭和設計が担当。今後の主なスケジュールは、1月末から3月末頃まで用地測量、9月頃まで実施設計や権利変換計画作成を進める。4月初旬に事業計画認可、9月頃に権利変換計画を縦覧する予定。10月末頃に権利変換計画認可、12月から17年7月頃まで補償費を支払う。工事関係者で協議するものとする。

### 協定書

**【公団から市が取得する保留床の概要】**

用途＝公益施設▽構造＝S造▽位置＝地上1階から地上4階▽面積＝専用部分面積約8660㎡及び共用部分の共有持分▽施設建築敷地の共有持分＝施設建築敷地面積約1万1540㎡の共有持分

**【負担金の概算額】**

市が公団に納付する負担金の概算額は金44億7700万円とする。消費税及び地方消費税の額を含む。

### 関係4者確認事項

地域振興整備公団、鹿屋市、鹿屋商工会議所、㈱まちづくり鹿屋（以下「関係4者」という）は、北田・大手町地区市街地再開発事業の実施に関し、次の通り確認するとともに、今後の事業推進にあたっては、連携・協議を図るものとする。

1、事業計画認可後の賛同書を得られていない権利者については、今後とも賛同を得られるよう努力し、今後の取り扱いについては関係4者で協議するものとする。

2、各店舗とその他店舗との回遊性の確保については、再度核テナント予定者と関係4者で交渉を「工事を実施、同年11月頃から18年9月頃までは国道504号の拡幅を計画している。

記載書等の要旨は次の通り。

## 交通栄誉章緑十字金賞

# 川畑勇三氏（川畑建設）が受賞

交通安全に尽力した個人や団体を表彰する第44回全日本交通安全協会表彰で、川畑勇三氏（川畑建設㈱、曽於郡末吉町）が交通栄誉章緑十字金賞に輝いた。東京都千代田区の日比谷公会堂で、常陸宮殿下、内閣総理大臣、衆参院議長も臨席、全国から約2000人が参加した表彰式で晴れの受賞となった。

当日は、警視庁音楽隊が君が代を演奏する中で、伊藤英彦警察庁長官から授与された。また淳子夫人に受賞者配偶者に対する感謝状贈呈もあった。川畑氏は、末吉町出身、70歳。大隅警察署管内の安全運転管理協議会長（現在は県の副会長も）を31年、また自身の無事故無違反歴32年の功績が認められ、これまでに平成2年に緑十字銅賞、同8年に緑十字銀賞、今回は最高の緑十字金賞を受賞した。現在、県建設業協会曽於支部支部長をはじめ、多くの役職をこなす。会社は、従業員60人、車両約1000台、建設業のほかに生コン、アスベスト産廃処理業など幅広く営業を展開。また、同社の交通事故死はなく「安全なくして繁栄なし」をモットーに活動している。

交通栄誉章緑十字金賞に輝き賞状を手にする川畑氏

今回の受賞に対し氏は、「死亡事故撲滅は、教育から始まる。この受賞を機会に、交通事故が増えないようさらに交通安全活動に取り組んでいきたい。昨年は管内の交通事故死が半減したのがうれしい」と喜びを語るとともに、「県下7000ある安全運転管理事業所が、ドライバーに道交法を守る徹底した教育をしてほしい。特に運転中の携帯電話やタバコ、わき見運転など」と注意を促す。

なお、同協議会は毎年、県交通被災者たすけあい協会にチャリティーゴルフの益金を寄付している。

## 鶴田建設

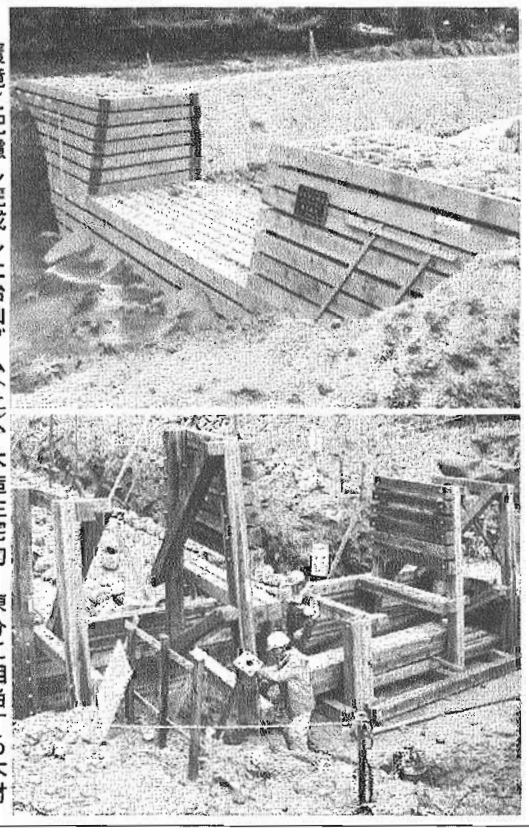
# ダム治山に木材利用 評定点で91・7点獲得

鶴田建設㈱（鶴田義昌代表取締役、曽於郡輝北町）はこのほど、県大隅農林事務所発注の復旧治山事業施工で、新しい工法で環境に配慮した完成が認められ工事成績評定点91・7点を獲得した。

治山ダムに木材を利用した工法は、管内初めての工事。間伐材の有効利用は健全な森林育成と保全、また地球温暖化の防止にも寄与する。

同工事の施工場所は、曽於郡輝北町上百引小水無東平。工事費4000万円、工期が15年3月25日から12月9日まで。木材加工は曽於地区森林組合と大隅森林組合が担当。コンクリート床固工1基の外側に木材を使い、木製床固工2基、木工沈床などに、ちょうど床面積100平方㍍の木造住宅約2棟分に相当する木材を使用した。また、流路工や石筋工に現場の転石をその場で加工して使った。

鶴田社長は「初めての工法・工事で各方面に視察にも出かけ、施工にも多くの苦労がありましたが社員の頑張り、森林組合を含めた発注者や関係者の協力のお陰だと思っています」と話した。脇隆一郎県大隅農林事務所次長は「現場監督も実績があり、いろんなリスクに積極的に向かい、乗り越えていただいた結果だと思います。自然の中にとけ込んだ木製ダムが完成された。地域の住民も喜んでいます。ぜひ現場を見てほしい」と語った。



環境に配慮し完成した治山ダム（上）、木造住宅約2棟分に相当する木材を使用した床固工等

## この人

### 入江 美晴さん

――仕事の内容は。

事務所の広報活動における補助業務です

――心がけていることは。

行事などの写真撮影は決定的瞬間を逃さないことと、広報活動に対しては一般市民の立場から意見を言うようにしています。

――目標は。

事務的に仕事をこなすだけでなく、自分の取り組みたいと思っています。

――最近の出来事は。

福岡の父から釣り竿をもらいました。やっと針と糸が結べるようになりました。

――趣味や特技は。

学生時代からのエレクトーンやフルート演奏です。お菓子づくりや少しのお酒もです。

（高山町）

建設業の詳しい情報は…
無料体験実施中
http://www.kc-news.co.jp
業者格付・県・市町村予算・発注予定工事等の情報は盛りだくさん
お問い合わせ：099-222-61